

國學院大學法学部 「講義計画」の作成にあたって

- (1) 國學院大學法学部では Semester 制を採用し、1 Semester 15 回 (1 回の授業時間は 90 分) で完結する授業を行い、これを 2 単位として認定することを原則としております。講義科目「日本の政治 A」は、1 Semester・2 単位の科目として開講されておりますので、ご提出いただく「講義計画」でも、15 回分のものを作成してください。また、上記科目は対面授業で開講されることを前提に講義計画を作成してください。
- (2) 「日本の政治 A」および「日本の政治 B」は、それぞれ 2 年次配当の半期 2 単位の選択必修科目であり、通常、同一年度に、前期に「日本の政治 A」、後期に「日本の政治 B」をご担当いただきます。両科目は、主として 1970 年代から現代までの日本の政治(経済・社会・外交への言及を含む)について、①その歴史的な概略の説明、②その構造的な特徴についての概略の説明、③それらを分析する基本的な枠組(比較政治学的なもの、および、日本政治分析独自のもの双方)の概略の提示を行ってもらうことを目的としています。
- (3) 今回の講義計画は、「日本の政治 A」についてのみご執筆いただきます。ご執筆の際、「日本の政治 B」の内容との連続性を考慮していただいて構いません。その際、「講義計画」の末尾の「注意事項」欄に「日本の政治 B」でとりあげる内容を簡潔にご記入下さい。
- その他に開講されている科目も含め、科目配置の全体像などについては、本学ウェブサイト掲載の履修要綱 (<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/tuition/p6>) やカリキュラムリスト&ツリー (<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/curriculum>) などをご参照ください (なお、ご参照にあたっては、現在の主要なカリキュラムの運用が開始された平成 30 年度 (2018 年度) 以降のものをご利用ください)。
- (4) 講義計画は政治専攻の学生向けの講義を念頭に置いてご執筆下さい。政治専攻の学生に関しては、カリキュラム上、①高校の政治経済程度を含む政治制度論および比較政治の初歩的な知識、②19 世紀後半から 1960 年代前後までの日本および西洋主要国の政治史の知識、を前提として講義していただくことができます。また、1 年次配当の「比較政治入門」や、2 年次で並行履修する、行政学、国際政治、政治思想史等の知識を合わせて、上位学年の「比較政治」等の講義に接続するようになっています。
- 法律学科各専攻の特質や科目展開などについては、前掲サイトのほか、本学ホームページの「3 専攻制とコース制」にある「各専攻の特色」および「法学部の学士課程教育 3 ポリシー」にある「教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)」をご覧ください (<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/law/about>)。

以上